

# 水稻栽培支援情報

## 第2号

令和6年7月2日

作成  
JA丹波ささやま

### ○水稻定点調査結果（7月11日調査）

調査地	移植日	草丈 (cm)	草丈 平年比	莖数 (本/株)	莖数 平年比
後川上	5/3	68.0	129.2%	20.7	82.2%
般若寺	5/4	62.8	106.3%	26.3	92.2%
本郷	5/8	67.0	123.0%	23.4	116.2%
真南条下	5/10	58.4	105.4%	21.3	82.9%
町之田	5/9	64.2	113.8%	18.4	75.9%
川原	5/15	58.1	111.6%	26.4	125.7%
上小野原	5/19	58.0	108.1%	22.4	92.6%
市内平均	5/10	62.4	113.8%	22.7	94.0%

### 1. 気象概要

6月平均気温は21.7℃（平年21.1）と平年を上回り、特に中旬以降に気温が上昇しました。6月降水量は梅雨入り(6/21頃)が遅れました、205mm（平年162mm）と平年より多くなりました。6月の日照時間は157h（平年141h）と平年以上の日照量を確保できました。

### 2. 生育状況

平年以上の気温、日照時間が確保できたことから、草丈は62.4cm（平年比114%）と6/14の前回調査（平年比92%）から大幅に回復、莖数は22.7本/株（平年比94%）と平年と比べ少ないですが、前回調査（平年比91%）から持ち直し、目標の莖数20本以上は確保できています。

### 3. 病害虫

目立った発生はありません。

### ○今後の対応

#### ①幼穂を確認し、穂肥の準備を！

幼穂形成期に入ると、①葉色がさめる ②茎の付け根が丸みを帯びる、など外観が変化します。

幼穂長を確認し、分施型の場合、出穂18日前に穂肥を施用、遅くとも14日前までに穂肥作業を終了してください。

省力型肥料の場合も、夏期高温が予想される場合、肥切れを防ぐため出穂1週間前～出穂期直前に穂肥を実施しましょう。

#### 出穂時期の予想

幼穂長 (mm)	0.2cm	出穂20日前	確認
	0.8~1.5cm	出穂18日前	穂肥実施
	1.8cm	出穂7日前	

\*穂肥の資材名、施肥量は丹波篠山コシヒカリ栽培こよみを参照して下さい

#### ②出穂前のカメムシ類対策を万全に！

カメムシ類は出穂とともに集まり、斑点米を発生させ、コメの等級を落とします。極端な場合は不稔籾や不稔穂を発生させます。

#### 【出穂期までの対策】

- 出穂2週間前までに、畦畔のあぜ草刈りを行い、生息密度を下げ、ほ場への侵入を減らしましょう
- 出穂時期までに本田内にヒエ等を取り除きましょう



\*田んぼでよく見られ、被害も大きいカメムシ

問い合わせ先

監修：丹波農業改良普及センター

JA丹波ささやま営農指導課 079-556-2355

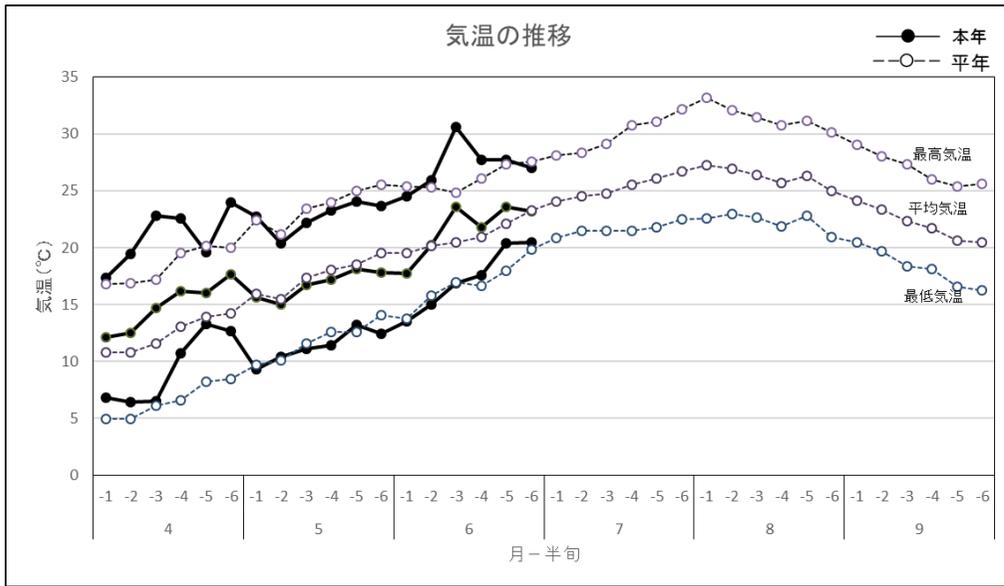


図1 気温の推移 (最高・最低・平均気温)

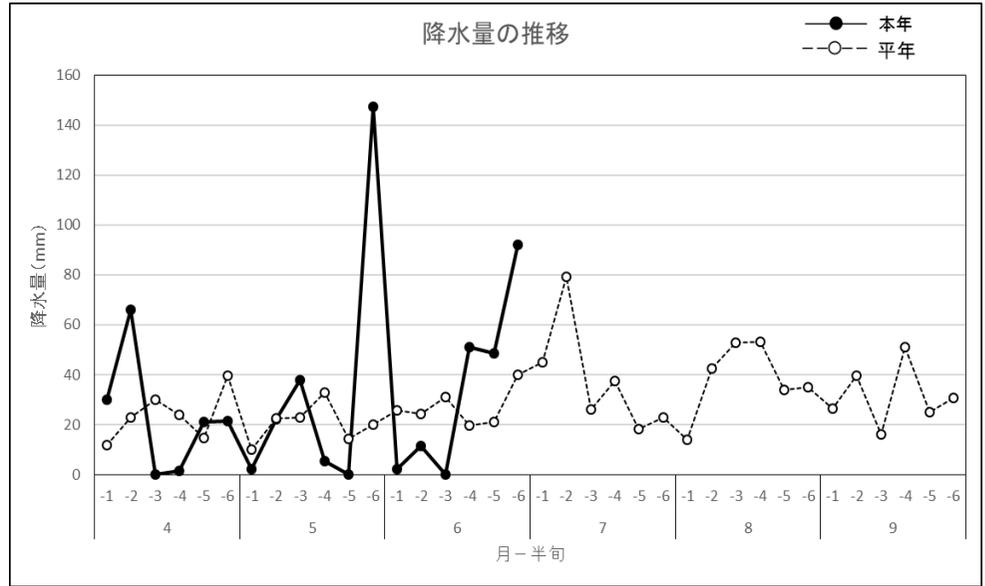


図3 降水量の推移

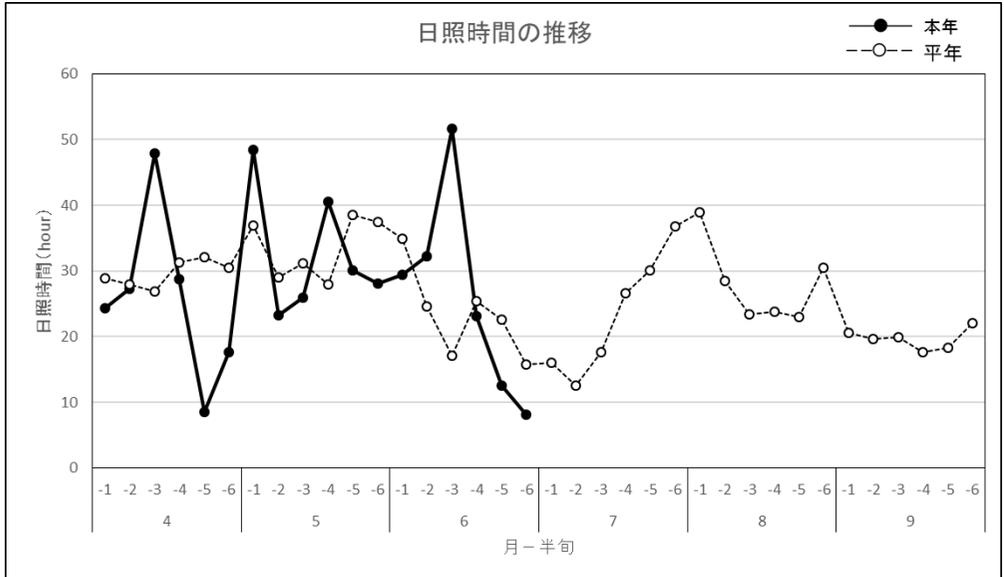


図2 日照時間の推移